

岐阜県内の河川中マイクロプラスチックの調査に関する研究について（継続課題）

実施機関：保健環境研究所環境科学部

調査研究期間：令和7年度～令和9年度

<目的>

近年、世界的に増大するプラスチックごみ、特に5mm未満の微細なプラスチック片（以下「マイクロプラスチック（MPs）」による海洋汚染問題が深刻化しており、岐阜県でも河川から海洋への流出が懸念されています。しかし県内河川中のMPsに関する調査事例は少なく、その実態は十分に把握できていません。環境流出プラスチックごみ対策を一層支援する観点からMPsの実態を把握することは重要であるため、この研究に取り組みました。

<方法>

県内河川中マイクロプラスチックの実態を把握するために以下の課題に取り組みます。

- 1) 県内の河川に適応できるサンプリング手法の確立
- 2) マイクロプラスチックの定量・同定手法の検討
- 3) 河川調査を通じてマイクロプラスチックの実態状況を把握

<経過報告及び今後の方向性>

経過報告1

県内河川におけるMPsのサンプリング手法を検討し、研究所近隣河川において検討手法に基づくMPsのサンプリングを行いました。

現在、採取した試料に前処理を行い、プラスチックの材質（成分）確認を行っています。

経過報告2

MPsの簡易的な定量・同定を実施するため、電子顕微鏡（SEM-EDS）を活用した分析手法を検討しています。

今後について

「清流の国ぎふ 海洋ごみ地域対策計画」や「岐阜県河川ごみ実態調査 実績報告書」を参考に、県内河川のサンプリング地点の選定→サンプリングを行い、岐阜県内のMPsの実態把握を行っていきます。



海洋プラごみの発生プロセス

※「清流の国ぎふ 海洋ごみ対策地域計画」掲載図をもと作成

マイクロプラスチック片

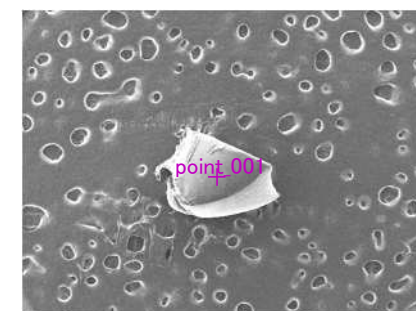


粒径	1mm	5mm	25mm
マイクロ（ナノ）プラスチック			
メソプラスチック			
マクロプラスチック			
参考	対象	参考	

※ 上図 環境省 水・大気環境局 海洋環境課 海洋プラスチック汚染対策室配布リーフレットより
※ 下図 環境省 河川・湖沼マイクロプラスチック調査ガイドラインをもとに作成



実際のサンプリングの様子



500 μm

MPsの電子顕微像
(ポリエチレン片)